

17/6 三社

## 森友訴訟

# 国が請求認め “終結”

岸田政権 真相解明を阻む

大阪地裁

学校法人森友学園をめぐる財務省の公文書改ざん問題で、自ら命を絶った同省近畿財務局職員赤木俊夫さん（54）＝の妻雅子さん（50）が国などに損害賠償を求めた訴訟の進行協議が15日、大阪地裁（中尾彰裁判長）でありました。

国は原告の請求を認める「認諾」を行い、国との訴る事実認定などは行われま

せん。安倍晋三政権による「行政の私物化」の真相解明を、岸田文雄政権が阻んだことになります。

これを求めて争つており、主張を一変させる形となりました。原告代理人によると、地裁側にも事前に知らされず、異例の訴訟対応といいます。遺族が、当時の同省負担が増した赤木さんの自



森友学園に関する公文書改ざんをめぐる国家賠償請求訴訟の進行協議の後、記者会見する原告の赤木雅子さん＝15日午後、大阪市北区

殺について、「国家賠償法上の責任を認めるのが相当との結論に至った」と説明。審理に必要な資料は可能な限り提出したとし、原告による追加主張などの内容を再検討した結果の判断だと強調しました。今後、

請求額の一億700万円を支払います。

お金ではすまない  
赤木さん妻

理財局長で改ざんを指揮したとされる佐川宣寿元国税庁長官が100万円の賠償を求めた訴訟は継続します。

森友訴訟

岸田政権 真相解明を阻む

お金ではすまない  
赤木さん妻

大阪市内で記者会見した雅子さんは「お金を払えば済む問題ではない」と憤りました。代理人の生越照幸弁護士は「雅子さんの目的は真相の解明。国はそれを無視した。裁判が進んで国に不都合な事実が出ると考えたから、裁判を終わらせたとしか思えない」と批判しました。

森友疑惑を国会で追及してきた日本共産党の辰巳孝太郎前参院議員は「国は裁判に背を向けた。真相解明は、国会で続けなければいけない」と語りました。

國側は同日付の準備書面

で、改ざん指示を受け業務

負担が増した赤木さんの自

ます。遺族が、当時の同省

負担が増した赤木さんの自

ます。遺族が、当時の同省